



EVA Pharmacare

EVA AIR Cargo

記事検索 DATA BANK 電子書籍版 WEB 閲覧を終了する際、必ずログアウトボタンを押してください。ログアウトしないままブラウザを閉じる（Xボタンで閉じる）と、システム上15～30分後、ログイン出来ない状態になります。

ENGLISH

トップニュース きょうの特集 航空 海運 ロジスティクス コラム

最新記事の検索



農水産物・食品輸送物
流特集2020

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国際航空旅客定期便の大幅な減便・運休は、農水畜産物の航空輸出に影響を与えている。
▶ 詳しくはこちら

通関業の日特集

今回の新型コロナウイルス感染症では、「通関士の在宅勤務」活用への関心が高まった。今後、働き方改革として利用が増えることも期待されそうだ。
▶ 詳しくはこちら

- ベトナム航空特集
- 辰巳商会100周年特集
- 空の日特集
- 中国特集2020
- 【#コロナに負けない】羽田空港物流特集2020
- 横浜港特集2020
- 台湾ハブ特集2020
- コイルコンテナ輸送特集
- アセアン特集
- #コロナに負けない 夏季特集2020



2020年10月19日 18時40分

平野ロジスティクス、回復期に向けて準備着実に 背高貨物など多様な需要に対応



山田康平支店長



平野ロジスティクスの「+1α」

平野ロジスティクス中部支店は、背高貨物への対応に強みをもつ自社オリジナルトレーラー「1α」を運行するなど、多様な需要に対応する体制を整えている。現在、中部空港から成田空港や関西空港向けの保税転送(OLT)は底堅く推移しているという。新型コロナウイルス禍からの回復期における貨物需要に確実に対応するための体制について山田康平支店長は「われわれとしてはスペースを確実に確保して、お客さまのご要望にしっかりと応えできるサービスを提供することが最も大切だ。そのための準備にしっかりと取り組みたい」としている。

平野ロジスティクス中部支店は、中部空港島内の愛知県企業庁用地(中部臨空都市)にあるAFSカーゴターミナルビル内にオフィスを構えている。2005年の中部空港開港時から拠点を構えており、中部空港を活用した物流の発展に貢献してきた。

中部支店から関東および関西向けに1日30~35台の輸送を手掛けており、これらは関東および関西から中部支店向けに運行されてくる車両で対応している。こうした車両に加えて、急な輸送依頼や特殊貨物輸送などに対応するために、中部支店としてトレーラー2台(+1α)、10トン車5台を配備、運用している。中部支店の陣容は9人。一般貨物に加えて緊急品、背高貨物など多種多様な貨物需要に対応している。

+1αは、大型トラックよりも96インチ仕様のユニット・ロード・デバイス(ULD)を1台多く搭載できる「+1」を改良した自社オリジナルトレーラー。背高貨物への対応が強みとなっている。平野ロジスティクスはオリジナルトレーラーを含む車両増強、ドライバーや内勤者の陣容拡大など事業基盤を強化。新型コロナウイルス禍からの回復期の需要に対応する方針だ。

中部支店が手掛ける保税輸送(OLT)は現在、中部空港と成田・羽田空港、関西空港を結ぶルートでの貨物の取り扱いがメインだ。フォワーダーの手配により、中部空港の周辺拠点を対象とした集貨・配送サービスも提供している。

地域特性もあって自動車関連機械の取り扱いが多いようだ。中部支店は富士スピードウェイや鈴鹿サーキットで開催されるレースの車両輸送に携わることもあり、車両やノウハウ、経験に裏打ちされた同社の高品質サービスが存分に生かされている。

現在、新型コロナ禍により中部空港の国際旅客便が運休を余儀なくされているという事業環境となっており、国際線が就航している空港に貨物が集約される傾向にある。中部支店の山田康平支店長は「新型コロナ禍に伴って航空ネット

Cluster Digital Green
海事プレス セミナーウィーク
2020年11月16日(月)~20日(金)
▶ 詳細は専用サイトにアクセス ▶

2021年版 予約受付中!
海運・造船会社要覧

- おすすめの特集
- リーファー輸送特集
 - 海上フォワーディング特集2020
 - 茨城の港湾特集
 - 成田空港フォークリフト・パレットビルディング競技会特集
 - 大阪港特集
 - 東京港特集
 - 成田空港特集
 - 物流BCP特集
 - 国際物流総合展特集
 - 大阪税関・大阪通関業会特集

アクセスランキング

| きょう | 前号 | 過去1週間 |
|--|----|-------|
| 13時30分現在 | | |
| 【連載】“異例のピーク”のFWD動向 (1) | | |
| SC変化に輸送手段確保を | | |
| 【人事】日本通運 | | |
| コンテナ運賃 異例の高水準続く 米輸入量はなお増加傾向 | | |
| 9月の国際航空貨物、総量1桁減に 成田、輸出が22カ月ぶり前年超え | | |
| 【展望台】餃子と事業継承 | | |
| 【連載】コンテナデボが問う物流の将来像<3> 青伸産業運輸 CRUで社会貢献と輸送安定供給を両立 | | |
| 平野ロジスティクス、回復期に向けて準備着実に 背高貨物など多様な需要に対応 | | |
| ファーストリテイリング 定款に倉庫・運送取次を追加 | | |
| SFエクスプレス、都内に拠点 | | |

FTZ 実現で日本再生
 敏賀港から取り組む
 規制改革

株式会社 海事プレス社
 KAIJI PRESS CO., LTD.

発行書籍のご案内

電子書籍のご案内

誰でも簡単
 電子書籍
 利用ガイド!

ワークが減少した影響を受けたことも一時期あったが、現在のOLTの動向については成田空港や関西空港向けの輸出貨物が底堅く動いている」と説明する。

山田支店長はまた「新型コロナ禍からの回復期には貨物需要は必ず高まるだろう。国際旅客便も順次、復便していこう。貨物も利用空港の選択肢が増えることで、物流動線が変化すると予想される」と指摘。回復期を見据えて準備、体制を整える方針だ。

戻る

中国・コンテナ運賃市況
 豪州・NZやアフリカ向
 けなど上昇



CARGO
 動画アーカイブ
 ~YouTube~

新聞読者の
 Web会員登録

CARGO
 プロモーションビデオ
 ~女性編~

CARGO
 プロモーションビデオ
 ~記者編~

▲ページの先頭へ

電子版のお申込み(購読/試読)
 新聞のお申込み(購読/試読)
 新聞読者の電子版ユーザーID登録お申し込み
 Daily Cargoメルマガのお申し込み

Daily Cargoとは
 会社概要
 お問い合わせ
 プライバシーポリシー
 会員規約

ご購入について
 著作権/リンクポリシー
 広告掲載について
 特定商取引法について

記事検索
 DATABANK
 電子縮刷版
 ヘルプ
 サイトマップ

Copyright © Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.
 見出し、記事、写真の無断転載を禁じます。